

1号議案 平成27年度活動報告

理事長総括 (小川理事長)

27年度も会員の積極的な参加、協力により有意義な活動を実施することが出来ました。

年間予定が組める体制が整いつつある「つどい」、第三者評価活動が活発になってきた「こむねっと部会」、そして安定した活動を続ける「東大阪部会」と元気に動き回る3部会の充実がうかがえる1年でした。

充実している要因としては会の運営状態が安定しており、活動に専念できる環境にある事があげられます。今後もこの3部会が新たなチャレンジを続けるかぎり、まだまだふくてつくも成長するであろう期待感が膨らみ、会としては良い状態ではないかと感じています。

これからも会員みなさんの協力を得ながら、楽しく興味ある活動に結びつけられればと思いますので、この3部会に引っ張ってもらいながら、有意義な活動が継続出来るよう頑張りましょう。

事務局報告 (中北事務局長)

◆定例会

開催日	学習会テーマ	学習会講師	その他
H27.7.4	今からでも遅くない相続税対策	秋岡安会員 税理士	
H27.8.1	第14回定期総会開催		
	「命を守るお守り」と多言語コミュニケーションツール	早内隆泰氏 旭紙工(株)	
H27.9.5	DVD鑑賞「健康体操」	阪田凱彦会員	・「なんばおにごっこ」に参加
	からくりを知ろう	荏田保志会員	
H27.10.3	「障がい者の人権侵害」 ～その歴史と今日的課題～	浅野省三氏 弁護士	
H27.11.7	シニア1000人調査 ～暮らし向きのリアル	上田牧人会員	・チャリティーマラソン「サンタラン」に有志が参加
H27.12.5	「暮らしの今昔館」見学		・会誌89号を発刊
H28.1.9	親睦会(学習会はなし)		
H28.2.6	空き家・空きビル・空き地の福祉活用	中北清会員 建築家	
H28.3.5	「要介護になるリスクを減らそう」ロコモティブシンドロームを知りましょう	吉村吉隆会員 柔道整復師・鍼灸師	・親睦会でカニパーティー開催(能勢別荘&Ohana 食堂) ・こうべユニバーサルデザインフェアに「すべらんうどん」が出店され、有志が参加
H28.4.2	eトコ・プロジェクトについて～家族と地域の再生をめざす～	金香百合氏 eトコ・プロジェクト代表	
H28.5.7	第三者評価を通してみた保育現場の現状	樋口和恵氏 保育運動センター	・共生・共走りレーマラソンに有志が参加
H28.6.4	発達障がいの方への支援	木戸貴之氏 (社福)北摂杉の子会	・会誌90号を発刊

◆総会記録

開催日時	場所	議事
第14回 定期総会 H27.8.1 14:10~16:10	大阪市立社会福祉 センター 3階会議 室 正会員総数 39名 出席 29名（うち委任 状出席 9名）	<ul style="list-style-type: none"> ・ H26年度活動報告・同決算 承認 ・ H27年度活動計画・同予算 承認 ・ 理事、監事の改選について

■理事会・運営会議記録

開催内容、日時	場所	議事
理事会 H27.8.1 10:30~12:00	大阪市立社会福祉 センター 3階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ H26年度活動、決算報告 ・ H27年度活動、予算計画 ・ 理事、監事の改選について
理事会 H28.6.29 10:30~12:15	大阪市立社会福祉 センター 3階会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・ H27年度の振り返りと H28年度の展望 ・ 例会運営について ・ 総会にむけて ・ 9月ふれぼの例会の企画について

1. ふくてっくのつどい (小川会員)

ものづくり活動 平成27年度事業報告 (H27/7/1~H28/6/30)			
A: 事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		成果
	場所		
1	院内学級授業「ミニ工作」 あそぼっくる	7/8	◆長期入院により院内学級に通う子供達に、普段接する事に制限のある自然木に触れ、自由工作をすることで五感を刺激したい。 ◆袋詰めにした材料を配布し自由工作をする。
	大阪市立総合医療センター／院内学級 (大阪市立光陽特別支援学校 総合医療分教室)		低学年から、中学生まで自由な発想の作品が多く完成。平凡な入院生活に少し遊びが加わり、楽しい授業となる。院内学級の先生からも工作の授業が実現出来たと大変喜ばれる。 会員7名参加
2	院内学級授業「からくりを知ろう!」 あそぼっくる	9/16	◆(7月に引続き)院内学級の子供達に「動くおもちゃ」の仕組み、からくりに興味を持ってもらう。 ◆木製サンプルやゼンマイのおもちゃを交えながら、スライドでからくりを説明。
	大阪市立総合医療センター／院内学級		何故?なるほど!と実際に動くおもちゃで気を引き、少し難しい話にも頷く子供もいて中盤以降は多くの質問があり、興味を抱いてくれた。 会員5名参加
3	「親子木工教室」 羽曳野市立白鳥幼稚園	11/4	◆園児達に木工をさせたい、という園からの要望に加え、工具体験の機会をつくる。 ◆パーツ工作とのこぎりとクギ打ち体験。
	白鳥幼稚園		父兄も参加し、自由な発想で工作を体験する。工具体験では、初めて使うのこぎりやかなづちは興味があり大変盛況となる。 後日、幼稚園から親御さんの感想をまとめたお礼文が届き、多くの貴重な意見を頂く。 会員13名参加
4	35回「池島ふれあいまつり」 社会福祉法人海の子学園	11/23	◆木工工具の体験と自由な発想による工作体験で木に触れ合う機会をつくる。 ◆自由工作と工具体験(丸太切り)。
	池島公園		大きな材料が多い事から作品自体が大きくなることと、工具が使い放題な事もあり回転率は悪いが、今年もいろいろな作品が完。毎年参加してくれる子供たちの成長に触れ、継続する事の重要性を認識する。 会員12名参加
5	共生・共走りレーマツ (子供体験コーナー) マツサク	5/29	◆自然木と端材を使った工作で子供から大人まで、また障がい者(児)も自由工作にふれあう機会を提供する。 ◆パーツ工作による自由工作。
	花博鶴見緑地公園		多種多様なパーツを準備し、簡単な工作にする予定が工具体験まで発展し、子供達は工具を使ってものづくりをしたいのだと改めて実感する。活動スペースが確保出来る木工では工具体験もテーマとして準備しなければならないと反省する。 会員12名参加

B：部会活動（会員の研修会や勉強会、他機関との会合等）

No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
1	病院木工材料加工	6/27	木片加工作業と材料袋詰め
	11名		ペーパーかけと子供達一人ひとりへの材料支給のための袋詰め作業を行う。
	ふくてつく ATC 事務所		
2	つどい集会	8/8	障がい者6時間リレーマラソン（ミニ工作）、病院内学級のミニ工作の反省と振り返り。 院内学級「からくりを知ろう！」と11月の木工活動の内容協議
	8名		
	ボランティア市民活動センター(1F)		
3	からくりサンプル作成	8/29	院内学級でのサンプル作成
	5名		からくりを伝える為のサンプルを作成。
	有馬工房		クランクを3体、首振りを3体。
4	つどい集会	9/12	11月の活動内容協議
	8名		「からくりを知ろう！」の最終内容確認。
	ボランティア市民活動センター(1F)		11月開催の池島まつりと羽曳野市立幼稚園での木工活動内容を協議。 子供達にどの様に楽しんでもらうか！をテーマに話会う。
5	木工材料調達（里山）	9/26	幼稚園活動材料調達
	7名		自然木の加工、大小木材の確保とのこぎり体験用の小枝を準備する。
	生駒いいもり山		
6	つどい集会	10/17	幼稚園活動準備確認
	13名		幼稚園活動内容と池島まつりの取組テーマを再確認する。
	ボランティア市民活動センター(3F)		
7	木工材料調達	11/22	自然木の材料調達&加工
	5名		丸太切り体験用の材料と輪切り、大小の枝を確保する。
	生駒いいもり山		
8	つどい集会	11/28	活動振り返りと反省
	14名		一年を通じて活動を振り返り反省と次年度の活動抱負を話会う。
	ボランティア市民活動センター(1F)		
9	つどい集会	4/16	今後の活動内容協議
	10名		今後の活動テーマや材料調達などスケジュールの確認をし、各会員が関われる内容を考える機会となる。
	ボランティア市民活動センター(1F)		
10	木工材料調達（里山）	4/23	5月活動材料準備
	6名		自然の枝分かれした材料の準備と、木材の大きさを揃える。
	生駒いいもり山		
11	木工材料加工	5/14	5月活動材料準備
	9名		材料の加工、木材の大きさを揃える。
	有馬工房		
12	つどい集会	6/25	今後の活動内容&次年度計画 協議
	7名		活動確認と次年度の「つどい」の役割を確認する。
	ボランティア市民活動センター(1F)		

ものづくり活動 平成 27 年度収益費用報告 (H27/7/1～H28/6/30)				
事業・部会 No	事業名	収益	費用	差益
A-1	「ミニ工作」(活動費)	7,000	6,000	1,000
A-2	「からくりを知ろう!」(活動費)	4,000	1,000	3,000
A-2	「からくりを知ろう!」(材料代:材木)	0	5,367	△5,367
A-3	「親子木工教室」(活動費・交通費)	30,000	20,500	9,500
A-3	「親子木工教室」(材料代:工具等)	0	3,760	△3,760
A-4	「池島ふれあいまつり」(活動費・交通費)	20,000	18,000	2,000
A-4	「池島ふれあいまつり」(運搬費)	5,000	1,000	4,000
A-4	「池島ふれあいまつり」(材料代:工具等)	0	3,723	△3,723
A-5	「子供体験コーナー」(材料費)	0	1,820	△1,820
A-5	「子供体験コーナー」(運搬費)	0	1,000	△1,000
A	材料代:工具等(スツース含)	0	21,063	△21,063
B-5	木工材料調達(里山)(入山料)	0	2,100	△2,100
B-6	部会部屋代	0	800	△800
B-7	木工材料調達(里山)(入山料)	0	1,500	△1,500
合計		66,000	87,633	△21,633

たいけん活動 平成 27 年度活動報告 (H27/7/1～H28/6/30)			
B: 部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
1	収穫体験(玉ねぎ)	7/25	会員間交流(玉ねぎ収穫)
	2名		5月に苗植えした玉ねぎの収穫。
	泉ヶ丘(林田ファーム)		
2	旬の味覚体験(里山花見)	4/16	会員間交流(春野菜と自然を満喫)
	10名		里山の自然の中で屋外食事会を実施し、会員間の交流を促進。
	生駒いいもり山		

ものしり活動 平成 27 年度活動報告 (H27/7/1～H28/6/30)			
B: 部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No.	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
1	住環境よもやま話	4/4	住宅改修のいろいろな話をする場をつくる。
	4月定例会内		実際にあった改修の「よもやま話」を、発表。

2. 東大阪部会 (清水会員)

東大阪部会 平成27年度事業・活動報告 (H27/7/1～H28/6/30)			
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		成果
	場所		
1	東大阪市高齢者・重度身体障害者住宅改造費助成制度適正検証事業	H27年 7/1～ H27年 6/30	高齢者・障がい者の為の住環境のバリアフリー化を促進し、データ収集分析を踏まえ、施策提言に結びつける。高齢者・障がい者の在宅生活の継続に寄与する共に、施工業者のスキルアップや地域福祉力の育成に寄与する。検証活動(建築士・セラピスト)・事前相談会・報告書作成・市民啓発資料作成・データ収集等実施
	東大阪市		H27年4/1～H28年3/31 実績 検証実績/高齢者世帯45件・重度身体障がい者世帯11件 セラピスト検証活動14件 事前相談会実績34件 H27年度報告書作成 H28年度しおり、市民啓発リーフレット作成
	東大阪市内		
2	東大阪市高齢者・重度身体障害者住宅改造費助成制度適正検証事業講習会	H28年 3/3 18:00～ 20:00	東大阪市身体障害者関係福祉事業所職員を対象に、東大阪市改造費助成制度に関する理解を深めるための制度の利用啓発について」講習会を開催する。本制度の周知を目的とし、グループワークで説明をおこなった。参加者に制度周知に関するアンケートを実施。
	東大阪市		参加者：東大阪市障害者在宅支援福祉事業所職員 グループワークで本制度説明を行った後、制度利用の問題点について意見交換をおこなった。アンケート結果、5年以上勤務者も本制度を知らない人が多い事がわかり、周知ができていないことが明らかになった。
	東大阪市内庁舎18階		
3	東大阪市高齢者・重度身体障害者住宅改造費助成に関するアンケート調査	H28年 3/19～ 3/30	3月3日「制度の利用啓発について」の講習会不参加の在宅支援をされている障害者支援事業所への本制度周知調査を郵送にて実施。本制度の周知を促すとともに、その利用活性化を妨げる要因を抽出し、本制度がより有効に機能するための課題を明らかにする。
	東大阪市		調査対象：東大阪市障害者在宅支援福祉事業所65件 回収31件 アンケート調査報告：45件(講習会参加含む)/事業所80件 (56.3%) 本制度の周知については、知りつつ関与しなかったが圧倒的に多数を占めていた。一方、制度利用の要望については「申請事務の平易化と迅速化」「対象となる障害者解釈の拡大」「GHへの利用認可」の3点に集中していた。
	郵送		
4	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業	H27年 7/1～ H28年 6/30	住宅改修の質的を第一義とし、副次的に不適切な介護保険適用を抑制する。検証活動・申請書類等作成・事例検討会・データ収集等実施
	東大阪市		H27年4/1～H28年3/31 実績 検証実績/単独事前及び事後審査275件 併用事前及び事後審査85件 書類審査10件 H27年度報告書作成 H28年度介護住改手引書改訂版作成
	東大阪市内		
5	東大阪市介護保険住宅改修研修会	H27年 ①8/6、 27 18:00～ 20:00 ②8/19 14:00～ 16:00	東大阪市住宅改修施工事業者・介護支援専門員等を対象に、介護保険住宅改修制度に関する理解を深めるための研修会を、施工事業者登録説明会と同時に開催する。共通：H26年度の介護保険住宅改修の現状 ①住宅改修計画時の注意点について、事例をもとに説明をおこなった。 ②理由書作成時の注意点について、事例をもとに説明をおこなった。
	東大阪市		参加者①施工事業者8/6：147社 8/27：84社 ②介護支援専門員90名
	東大阪市男女共同参画センター6階 イーコラムホール		①適切・不適切事例の違いが理解され、不適切事例の減少が期待できる。 ②理由書に求められる要件が理解され、不備な理由書の減少が期待できる。

6	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	H27年 9/16 ①10:00 ～12:00 ②14:00 ～16:00	健全な制度利用と施工事業者の資質向上への支援、担当職員へ介護保険住宅改修の趣旨を促し、健全な運営には行政体制の確立が必要であることを明らかにする。 事業者登録研修会として、同じ内容で2回実施する。 研修会に際し、8/26に申請書類の実態調査をおこなう。 ・介護保険住宅改修の目的、流れ、役割、事例をもとに説明をおこなった。
	寝屋川市		参加者：施工事業者 約30名 参加者は少なかった。業者への連絡は全体告知及び掲示のみであり個別連絡は無い。今後この方針は変更しない。
	寝屋川市立保健福祉センター4階健康指導室		・制度の趣旨が理解され、不適切申請・事例の減少が期待できる。
7	障がい者プレグループホーム調査	H27年 8/31～ 9/9	障がい者が主体的に住まい方を選択し、地域での自立生活を豊かに拓げてゆくため、ハード面の現状を客観的に把握して、潜在する困窮課題を明らかにし制度改革に繋げる。プレ調査を実施し、調査方法を精査したうえで本調査を実施する
	知的障がい者グループホーム		調査参加者：10名 対象グループホーム：10か所 調査準備：訪問GHへの調査連絡、GHの所在地図・間取り図、連絡先、GH担当者名などに不備があると調査に時間を費やすことが明らかになった。
	東大阪市内		調査リスト：聞き取り調査の項目、記入方法等の修正を確認し、本調査に向けて修正することができた。
7	大阪府下自治体バリアフリー施策実態調査		活動なし
8	ワンポイントアドバイス冊子発行		H28年度に延期
9	出前講座		活動なし

東大阪部会 平成27年度活動報告（H27/7/1～H28/6/30）

B：部会活動（会員の研修会や勉強会、他機関との会合等）

No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
場所			
1	定例検討会	H27年7月 ～H28年6 月第3土曜 日	東大阪活動における情報の共有と促進。課題と対策の検討。共通認識及びスキルの向上。
	検証メンバー全員		12回開催
	ATCふくてっく事務局・ 大阪市立社会福祉センター会議室		検証基準や技術手法を共有し、個人ではなくチームで取り組み適切、且つ、迅速な適正検証活動が推進されている。

H27 年度東大阪検証活動 作業担当スケジュール

※ 担当日、都合が悪い時は、自ら事前に他のメンバーと交渉し交代する。変更になった場合はメールで全員に連絡する。

	検証記録/ 改造助成・介護住改		改造助成 事前相談会		活動 予定	部会			ふくてつく 定例会発表	その他活動予定
	原則:木曜 太字は水曜	集積 送信	第1・3・5 木曜	担当	作成 連絡	第3 土曜	議事 進行	記録	担当	
4月	2.9.16.23.30	鎌田	① 4/2	清水	4/9	4/18	川北	清水	4/4 清水 「申請者あれ これ」	
			②4/16	小川	4/23 小川					
			③4/30	鎌田						
5月	7.14.21.28	後藤	④5/7	後藤	5/14	5/16	川北	中北	5/9 後藤「耐 震あれこれ」	・改造助成・介護住改 H26 年度報告書納品
			⑤5/21	清水	5/28 山本					
6月	4.11.18.25	川北	⑥6/4	曾我部	6/11	6/20	山本	曾我部	6/6 川北「2つ の文学館」	
			⑦6/18	川北	6/25 川北					
7月	2.9.16.23.30	大塚	⑧7/2	小川	7/9	7/18	山本	川北	7/4 大塚「東 大阪における 私の活動」	
			⑨7/16	川北	7/23 小川					
			⑩7/30	鎌田						
8月	6.13.20.27	山本	⑪8/6	山本	8/13	8/15	川北	大塚	8/1 発表無し	・8/6・27 介護住改登録 説明会及び研修会 ・8/19 ケアマネ講習会
			⑫8/20	清水	8/27 山本					
9月	3.10.17.24	曾我部	⑬9/3	小川	9/10	9/19	山本	後藤	9/5 大塚「東 大阪地名の いわれ2」	・GH 調査 ・9/16 寝屋川市介護住 改研修会
			⑭9/17	川北	9/24 川北					
10月	1.8.15.22.29	春岡	⑮10/1	寺岡	10/8	10/17	川北	小川	10/3 小川「ロ コモ」って知っ てる	
			⑯10/15	山本	10/22 小川					
			⑰10/29	後藤						
11月	5.12.19.26	大橋	⑱11/5	鎌田	11/12	11/21	山本	磯田	11/7 寺岡「東 大阪モノ造り の町」	
			⑲11/19	寺岡	11/26 山本					
12月	3.10.17.24	磯田	⑳12/3	磯田	12/10	12/19	山本	磯田	12/5 曾我部 「モノづくりに 必要な頭の 体操」	
			㉑12/17	磯田	12/24 川北					
1月	7.14.21.28	清水	㉒1/7	清水	1/14	1/16	川北	寺岡	1/9 磯田「ラ グビーワールド カップ花園」	
			㉓1/21	曾我部	1/28 小川					
2月	4.10.18.25	寺岡	㉔2/4	後藤	2/10	2/20	川北	山本	2/6 鎌田「BF とUDの違い」	
			㉕2/18	山本	2/25 山本					
3月	3.10.17.24.31	小川	㉖3/3	寺岡	3/10	3/19	山本	鎌田	3/5 山本「救 急医療セッ ト」の紹介	・3/3 改造助成講習会 ・3/19 アンケート調査
			㉗3/17	鎌田	3/24 川北					
			㉘3/31	曾我部						

※「事前相談会」太字は会場:西福祉事務所 ※「活動予定/作成・連絡」は、上記以外の活動日は清水が担当。

東大阪部会 平成 27 年度収支報告 (H27/7/1~H28/6/30)

事業・部会 No	事業名	収入	支出	余剰金
A-1 A-2 A-3	東大阪市高齢者・重度障害者 住宅改造費助成制度適正検 証事業	3,434,400	諸謝金 3,859,000 印刷製本費 17,219 通信運搬費 14,665 消耗品費 174,729 旅費交通費 368,200 会議費 12,300	
A-4 A-5	東大阪市介護保険住宅改修 適正検査事業	2,784,240	租税公課 4,200 支払手数料 16,470	
A-6	寝屋川市介護保険住宅改修 支援事業	60,000	諸謝金 150,000 旅費交通費 19,840	
A-7	GHプレ調査	0	諸謝金 142,000 旅費交通費 12,530	
合計		6,278,640	4,791,153	1,487,487

23.7%
未払金約¥280,000

3. こむねっと事業部会 (中北会員)

総括

計画	実績評価
<p>こむねっと事業部会は平成27年1月に「4つの矢」構想を打ち出して、それまでの多岐に亘る事業の統合整理を行いました。</p> <p>「地域福祉の推進」を基本テーマとして、それらの活動ミッションを位置づけ、相互に重ね合いながら(OVERLAPPING PORTION)、発展させて行きます。</p>	<p>第三者評価事業においては、一定の前進が図れたが、他の事業(SCP、地域生活支援、建築物保全)については大きな進展はない。</p> <p>第三者評価においても、設定した工程は遅れ気味で、その成果の成就是次年度に持ち越しとなった。次年度の進展を期待したい。</p>

こむねっと事業部会 平成27年度事業・活動報告 (H27/7/1~H28/6/30)

A: 事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)

No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		期待する成果
	場所		
A1-1	福祉サービス第三者評価	通年	大阪府地域福祉推進審議会および評価機関連絡会
	大阪府庁ほか		評価機関連絡会では、評価基準の改訂など、めまぐるしく変わる評価活動について多岐に亘る議論が交わされた。その中から複数の機関が協働して評価活動や研修会を実施する企画が検討課題にあがっている。大阪府地域福祉推進審議会はこの1年、開催がなかった。
A1-2	福祉サービス第三者評価	H28年1月 ~ H28年6月	第三者評価活動
	奈良県手をつなぐ育成会		奈良県手をつなぐ育成会の評価は3度目の取組。
	同朋学園 風の森		同朋学園はH25年度にACJの応援で取り組んだ児童養護施設であるが、今回は当会に受審依頼があった。風の森は柏原市の知的障がい生活介護・就労継続支援B型事業所、NALC青木氏を通じた依頼。以上、3件についてプレ訪問と自己評価・アンケート調査等の準備を進めてきた。
A1-3	福祉サービス第三者評価	H28年3月	ふくてつく第三者評価体制の強化
			H28年3月末で評価調査者資格が失効する7名が継続研修を受講。H28年6月現在の評価調査者は12名となっている。

A2	SCP研究会	H27年7月 ~ H28年6月	サービス・コンティニューイティエー・プランニング事業 ゆめ風基金、PARTY・PARTY等とともに、災害時BCP研究会に参画してきた。 11/23開催のボジ祭の前夜祭にてシンポジウムを成功させた。熊本地震後は、その支援活動報告会という活動趣旨も加わり、初期の目標はやや変質している。 当会独自のSCP研はまだ始動に至っていない。
	医療・福祉事業者		
	関西広域連合域		

A3	障害者の住環境改善支援	H27年12月 ~ H28年6月	重度身体障がい者の自立住居建設計画 夢宙センターに通所するT氏(頸損・上下肢麻痺)の一人住まい住居建設計画に、用地探しから支援を開始。 一候補地を特定して住戸計画を進め、実行の是非を検討するも、より良い立地を求めて、再度用地探しに戻る。
	T氏・夢宙センター		

A4-1	建築物保全・活用①	H27年7月 ～ H27年12月	既存ビル活用による福祉事業所整備 豊中元町の金岡ビル、1～2階の用途変更を伴う事業所整備を成就する。
	NPO ハニー・ビー		
A4-2	建築物保全・活用②	H27年12月 ～ H28年6月	空きビル・空き地活用による福祉事業所整備 多くの物件調査を重ねたが、適当な物件にめぐりあえず、 なお継続して候補地を探求している。
	NPO ムーブメント		
A4-3	建築物保全・活用③ (社福) 草の根共生会	H27年7月 ～8月	柏田事業所2階をショートステイ事業所に改造する件 12条報告等を経て用途変更成功(山本会員担当)
A4-4	建築物保全・活用③	H27年8月 ～10月	既存建物活用調査 いくつかの物件調査を実施
	NPO 虹の会		

A5	特殊建築物定期検査報告	H28年3月	至善荘および福井寮の検査報告に取り組む 短期・集中的に取り組み、活動原資を確保
A6	外部連携	随時	諸団体等との連携を深め、ネットワークを構築する。 (阿倍野) 本年度は活動停滞 (真友会) 市民団体・淀川区社協との定例ミーティングは休止 状態となっている。福井医院単独の建物保全工事に着手。 (宅老連) 研修会等に随時参加 (NPOセンター) 山田裕子氏とは事にふれ連携してきた (ボラ協) 研修会等の企画に随時参加 (建築士会) セミナーで講演活動 (JIA福祉部会) H28年5月以降、研究会に参加再開 6月には、ふれぼの見学会も主催

B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		成果
	場所		
B1-1	7月部会	7/18(土)	福祉サービス第三者評価事業 改訂された評価基準の理解と評価機関体制整備の検討 評価基準の厳格化・コメントの詳細記述、契約書に盛り込むべき内容の確認などについて議論 併せて26年度事業報告・27年度事業計画の承認
	8名		
	大阪市立社会福祉センター		
B1-2	8月部会	8/15(土)	①虹の会、ハニービー、ムーブメントの、事業所整備支援活動 ②前月に引き続き、評価基準改定内容の吟味 ③福祉サービス第三者評価アンケート票の検討 ④その他懸案事項
	6名		
	大阪市立社会福祉センター		
B1-3	9月部会	9/19(土)	
	大阪市立社会福祉センター		
B1-4	10月部会	10/15(土)	諸問題討議 ①障がい福祉サービス事業所整備案件の経過報告 蓮Ⅱ、ハニー・ビー、ムーブメントほか ②障がい者の人権擁護(10月学習会ふりかえり) ③障害福祉およびその環境整備課題 ④こむねっと部会活動の展望
	10名		

B1-5	11月部会	11/21 (土)	諸問題討議 ①各案件進捗状況報告 ②社会福祉法人改革の動向 ③奈良県手をつなぐ育成会の評価Ⅲについて ④その他
	10名 大阪市立社会福祉センター		
B1-6	12月部会 (休止)		
B1-7	1月部会	1/16 (土)	福祉サービス第三者評価 ①奈良県手をつなぐ育成会評価活動の検討 ②ぐっどケア評価の検討 ③継続研修の受講 障がい福祉と住環境課題 ゆめ風基金の災害BCPと、当会のSCPの関係について
	10名 大阪市立社会福祉センター		
B1-8	2月部会	2/20 (土)	諸問題討議 ①評価機関連絡会 (2/17) 議事内容について ②重度身体障がい者の住宅づくり ③障がい者グループホーム計画の課題 ④奈良県手をつなぐ育成会の評価計画
	10名 大阪市立社会福祉センター		
B1-9	3月部会。	3/5 (土) ふくてっく 例会前に 開催	奈良県手をつなぐ育成会第三者評価 ①スケジュール吟味 ②アンケート票の吟味 ③自己評価票の吟味
B1-10	4月部会	4/16 (土)	主として第三者評価に関する諸問題討議 ①奈良県手をつなぐ育成会の事業計画、体制改善の現況 ②同朋学園訪問の印象について (4/13に事前訪問) ③児童養護施設の理解 ④風の森第三者評価の取組について ⑤ふくてっく学習会企画について
	8名 大阪市立社会福祉センター		
B1-11	5月部会	5/21 (土)	福祉サービス第三者評価 ①3事業所の評価スケジュール検討 ②奈良県手をつなぐ育成会 初回評価の見直し ③同朋学園 前回評価の見直し
	6名 大阪市立社会福祉センター		
B1-12	6月部会	6/18 (土)	福祉サービス第三者評価 奈良県手をつなぐ育成会 自己評価の読込
	7名 大阪市立社会福祉センター		

こむねっと事業部会 平成27年度収支報告 (H27/7/1~H28/6/30)				
事業・部会 No	事業名	収入	支出	収支差額
B1-1~12	こむねっと部会 会議室料		16,300	
A5	特殊建築物定期検査報告 (2件)	138,600	112,390	
A1-3	福祉サービス第三者評価 研修費		20,500	
	評価基準ガイドラインデータ化作業(中北・春岡)		73,200	
A4-3	(社福) 草の根共生会ショートステイ (山本)	50,000		
A4-4	NPO 虹の会 既存建物物件調査 (中北)	100,000		
共通	振込手数料		756	
		288,600	223,146	65,454

今期に受注確定した3件の福祉サービス第三者評価の収入が全て次年度送りとなったため期首の収支計画と大きく変動している。

2号議案 平成27年度決算報告 (中北事務局長)

活動計算書

平成27年7月1日から平成28年6月30日まで

(単位:円)

科目	金額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	375,000		
通信会員受取会費	1,500		
学生会員受取会費	3,000		
例会参加受取会費	8,000	387,500	
2. 受取寄付金		0	
3. 事業収益			
ふくてっくのつどい	66,000		
東大阪	6,278,640		
こむねっと	288,600	6,633,240	
4. その他収益			
受取利息	1,414		
雑収益	1,500	2,914	
経常収益計			7,023,654
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	46,500		
人件費計	46,500		
(2) その他経費			
材料費	19,533		
業務委託費	112,390		
諸謝金	4,224,200		
印刷製本費	17,219		
会議費	29,400		
旅費交通費	401,570		
通信運搬費	14,665		
消耗品費	174,729		
租税公課	4,200		
研修費	20,500		
支払手数料	17,226		
雑費	19,800		
その他経費計	5,055,432		
事業費計		5,101,932	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	124,800		
通勤費	33,280		
人件費計	158,080		
(2) その他経費			
諸謝金	55,685		
印刷製本費	16,594		
会議費	63,880		

通信運搬費	61,201		
消耗品費	1,296		
地代家賃	412,260		
減価償却費	1,757		
保険料	35,840		
諸会費	44,000		
租税公課	216,248		
支払手数料	31,214		
雑費	58,240		
その他経費計	998,215		
管理費計		1,156,295	
経常費用計			6,258,227
当期正味財産増減額			765,427
前期繰越正味財産額			6,640,255
次期繰越正味財産額			7,405,682

貸借対照表

平成 28 年 6 月 30

日 現在

(単位:円)

I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	7,268,264		
流動資産合計		7,268,264	
2. 固定資産			
什器備品	6		
保証金	137,412		
固定資産合計		137,418	
資産の部合計			7,405,682
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	0		
流動負債合計		0	
負債の部合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		6,640,255	
当期正味財産増減額		765,427	
正味財産の部合計			7,405,682
負債・正味財産の部合計			7,405,682

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却をしています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税は税込経理により処理しています。

2. 事業別損益の状況

事業別損益の状況は以下のとおりです。

(単位:円)

	ふくてくのつどい	東大阪	こむねつと	事業費計	管理費	合計
I 経常収益						
1. 受取会費				0	387,500	387,500
2. 受取寄付金				0	0	0
3. 事業収益	66,000	6,278,640	288,600	6,633,240		6,633,240
4. その他収益				0	2,914	2,914
経常収益計	66,000	6,278,640	288,600	6,633,240	390,414	7,023,654
II 経常費用				0		
1. 人件費				0		
給料手当	46,500			46,500	124,800	171,300
通勤費				0	33,280	33,280
人件費計	46,500	0	0	46,500	158,080	204,580
2. その他経費						
材料費	19,533			19,533		19,533
業務委託費			112,390	112,390		112,390
諸謝金		4,151,000	73,200	4,224,200	55,685	4,279,885
印刷製本費		17,219		17,219	16,594	33,813
会議費	800	12,300	16,300	29,400	63,880	93,280
旅費交通費	1,000	400,570		401,570		401,570
通信運搬費		14,665		14,665	61,201	75,866
消耗品費		174,729		174,729	1,296	176,025
地代家賃				0	412,260	412,260
減価償却費				0	1,757	1,757
保険料				0	35,840	35,840
諸会費				0	44,000	44,000
租税公課		4,200		4,200	216,248	220,448
研修費			20,500	20,500		20,500
支払手数料		16,470	756	17,226	31,214	48,440
雑費	19,800			19,800	58,240	78,040
その他経費計	41,133	4,791,153	223,146	5,055,432	998,215	6,053,647
経常費用計	87,633	4,791,153	223,146	5,101,932	1,156,295	6,258,227
当期経常増減額	-21,633	1,487,487	65,454	1,531,308	-765,881	765,427

3. 固定資産の増減内訳

科目	期首 取得価額	取得	減少	減価償却 累計額	期末 帳簿価額
什器備品	427,590	0	0	427,584	6
合計	427,590	0	0	427,584	6

パソコン1台、プロジェクター1台

財産目録

平成 28 年 6 月 30 日 現在

(単位：
円)

I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金				
手許現金		84,589		
三菱東京UFJ銀行梅田支店		6,165,743		
ゆうちょ銀行		921,432		
郵便振替口座		96,500		
流動資産合計			7,268,264	
2. 固定資産				
什器備品		6		
保証金		137,412		
固定資産合計			137,418	
資産の部合計				7,405,682
II 負債の部				
1. 流動負債				
預り金		0		
流動負債合計			0	
負債の部合計				0
正味財産				7,405,682

27 年度も大きな剰余金(正味財産増額)を生じました。
租税公課を納付する NPO 法人として健全な経営を維持しています。

3号議案 監査報告 (秋岡・稲住監事)

4号議案 平成28年度活動計画

1. ふくてっくのつどい (小川会員)

ものづくり活動 平成28年度事業計画 (H28/7/1～H29/6/30)			
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		期待する成果
	場所		
1	院内学級授業「ミニ工作」	9/14	◇長期入院により院内学級に通う子供達に、工作授業として“ものづくり”を体験。 ◇大小パーツ木片による自由工作。 木を使った工作から五感を刺激し、子供たち気分転換を演出したい。
	あそぼっくる		
	大阪市立総合医療センター／院内学級		
2	「親子木工教室」	11月初旬	◇園児達に木工をさせたい、という園からの要望。 ◇大小パーツ木片による自由工作と工具体験。 子供たちの創意工夫を引き出す。
	羽曳野市立幼稚園		
	羽曳野市立幼稚園		
3	36回「池島ふれあいまつり」	11/23	◇地域まつりに参加し木工の楽しさを伝える。 ◇木工工具の体験と自由な発想による工作体験。 丸太切り体験や木工の楽しさを伝える。
	社会福祉法人海の子学園		
	池島公園		
4	「eトコ寺子屋」	2月中	◇地域の子供たちに木工の楽しさを伝えたい。 (※27年4月定例会を開催した場所で) ◇大小パーツ木片による自由工作と工具体験。 “ものづくり”に興味を持ってもらう。
	eトコ		
5	木工教室	28年度中	◇大人工作教室の依頼。 (※共生・共走マラソンで声をかけられる)
	小学校 PTA		
	大阪市立小学校		
6	共生・共走レマラソン (子供体験コーナー)	5/31	◇木工工具の体験と自由な発想による工作体験。 ◇大小パーツ材料による自由工作。 子供たちの創意工夫を引き出す。
	マツサク		
	花博鶴見緑地公園		

B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		期待する成果
	場所		
1	木工材料調達 (里山)	5回/28 年度	◇各事業活動の為の材料調達 自由な発想に応えられる材料を準備。
	生駒いいもり山		
2	つどい協議	5回/28 年度	◇各事業活動の活動テーマを協議 更なる新しい体験方法を考え、新しい作品づくりを考える。
	ボランティア市民活動センター		
3	木工加工作業	2回/28 年度	◇各事業活動の材料仕上げ加工 自由な発想に応えられる材料を準備。
	有馬工房		
4	木工加工作業	2回/28 年度	◇各事業活動の材料仕上げ加工 自由な発想に応えられる材料を準備。
	ふくてっく ATC 事務所		

ものづくり活動 平成 28 年度収益費用計画 (H28/7/1～H29/6/30)				
事業・部会 No	事業名	収益	費用	差益
A-1	院内学級授業「ミニ工作」	4,000	2,000	2,000
A-2	「親子木工教室」	20,000	15,000	5,000
A-3	36回「池島ふれあいまつり」	25,000	17,000	8,000
A-4	「e トコ寺子屋」	0	2,000	△2,000
A-5	木工教室	20,000	12,000	8,000
A-6	共生・共走りレマソン(子供体験コーナー)	0	2,000	△2,000
B-1	木工材料調達(里山)	0	1,800×5	△9,000
A	工具購入	0	10,000	△10,000
合計		69,000	69,000	0

たいけん活動 H28 年度活動計画 (H28/7/1～H29/6/30)			
B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数		期待する成果
	場所		
1	収穫体験	2回/年 28年度	◇会員間交流(田植え、種植え、収穫体験を通じて)
	各5名参加予定		日ごろ体験できない土いじりと収穫を体験。
	泉ヶ丘(林田ファーム) 生駒いいもり里山		参加者は協力して作業することで新たな一面を発見できる。
2	旬の味覚体験(里山花 見・海鮮(カニ鍋等))	2回/年 28年度	◇会員間交流
	各10名参加予定		旬の食材を味わいながら、交流を深める。
	生駒いいもり里山 他		
3	大人の社会見学	4回/年 28年度	◇会員間交流(知識習得を通じて)
	各8名参加予定		ふくてつく季節の遠足目的に、担当者を決め自由に興味のあるものを紹介し、みんなで遊びにいき交流を深める。

ものしり活動 平成 28 年度活動計画 (H28/7/1～H29/6/30)			
B：部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)			
No.	事業名	日付 期間	活動目的・内容等
	相手先・依頼主		期待する成果
	場所		
1	住環境よもやま話	4回/年 28年度	◇住宅改修に関する疑問など、話をする場をつくる。
			◇実際の改修現場にある「よもやま話」を、わかり易く説明等。
	定例会内		ふくてつく会員として住環境改善の知識の習得に。

2. 東大阪部会 (清水会員)

東大阪部会は、東大阪の委託事業として始まった適性検証事業も11年目にはいり、また、昨年より寝屋川市への支援事業もスタートしました。当初より問題提起やその克服提案を繰り返し、少しずつではありますが、その成果も確認する事ができています。今年度も継続して事業を展開し、私たちのような第三者機関が検証する必要のない行政システムと地域福祉力が連携して支える社会を目指します。新たな取組として、障がい者の自立および施設からの地域移行を支援し、地域福祉を推進するために、東大阪市の障がい者支援事業所と協働して障がい者共同生活援助ホームの住環境調査を実施します。

東大阪部会 平成28年度事業計画 (H28/7/1～H29/6/30)			
A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主		成果
	場所		
1	東大阪市高齢者・重度身体障害者住宅改造費助成制度適正検証事業	H28年 7/1～ H29年 6/30	目的：高齢者・障がい者の為の住環境のバリアフリー化を促進し、データ収集分析を踏まえ、施策提言に結びつける。
	東大阪市		質の良い住環境改善と、高齢者・障がい者の在宅生活の継続。
	東大阪市内		
2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査事業	H28年 7/1～ H29年 6/30	目的：対象者の自立支援や事故防止、住宅改修の質的向上と、不適切な介護保険適用を抑制する。
	東大阪市		介護支援専門員の質的向上、施工業者の不正の抑止と資質の向上を誘導する。
	東大阪市内		
3	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	H28年 9/2	目的：健全な制度利用と、施工事業者・介護支援専門員の資質向上への支援。
	寝屋川市		施工事業者・介護支援専門員の資質の向上を図ることにより、質の良い住環境のバリアフリー化を促進する。
	寝屋川市立保健福祉センター		
4	東大阪市障がい者共同生活援助ホーム住環境調査	H28年度 後半予定	目的：現行の東大阪市高齢者・重度身体障害者住宅改造費助成制度から漏れた、障がい者の住環境困窮課題を明らかにし、本制度の再構築に結びつける。
	東大阪市共同生活援助ホーム事業者		障がい者支援事業所との協働取組の実現。 障がい者が主体的に住まい方を選択して、地域での自立生活を豊かに広げていける生活基盤を創りに結びつく。
	東大阪市内		
5	ワンポイントアドバイス冊子発行	H28年度 後半予定	東大阪市内に所属する介護支援専門員を支援するために、住宅改修アドバイス集を作成する。500部発行
			介護支援専門員が積極的に住宅改修等に関わり、適切な計画のもと、高齢者や障がい者が安全で安心した暮らしを実現する。

個々の住環境改善を超えた、地域での自立生活を豊かに広げてゆくための生活基盤改善が目標です。

東大阪部会 平成 28 年度活動計画 (H28/7/1～H29/6/30)

B : 部会活動 (会員の研修会や勉強会、他機関との会合等)

No	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数 場所		成果
1	定例部会(月1回開催)	H28年 7月～第3 土曜 12回	目的：東大阪部会活動における情報の共有と促進 内容：活動の報告・連絡・検討
	検証メンバー		チームで取組、公正・適切、且つ、迅速な検証活動を行うことによって、 高齢者や障がい者等の在宅生活の継続に寄与する。
	大阪市立社会福祉センター・ ATC ふくてつく事務局他		

東大阪部会 平成 28 年度予算計画 (H28/7/1～H29/6/30)

事業・部会 No	事業名	収入	支出	余剰金
A-1	東大阪市高齢者・重度障害者住宅改 造費助成制度適正検証事業/	3,434,400	2,710,000	724,400
			諸謝金 2,400,000	
			旅費交通費 220,000 消耗品 90,000	
A-2	東大阪市介護保険住宅改修適正検査 事業	2,865,600	1,780,000	1,085,600
			諸謝金 1,400,000	
			旅費交通費 290,000 消耗品 90,000	
A-3	寝屋川市介護保険住宅改修支援事業	100,000	180,000	△80,000
			諸謝金 150,000	
			旅費交通費 20,000 消耗品 10,000	
A-4	東大阪市障がい者共同生活援助ホー ム住環境調査	0	800,000	△800,000
			諸謝金 570,000	
			旅費交通費 80,000 通信費 50,000	
			消耗品費 100,000	
A-5	ワンポイントアドバイラス	0	160,000	△160,000
			諸謝金 100,000	
			旅費交通費 30,000 消耗品費 30,000	
合計		6,400,000	5,630,000	770,000
			諸謝金 4,620,000	
			旅費交通費 640,000	
			消耗品 320,000	
			通信費 50,000	

12.0%

H28 年度東大阪検証活動 作業担当スケジュール

※ 担当日、都合が悪い時は、自ら事前に他のメンバーと交渉し交代する。変更になった場合はメールで全員に連絡する。

	検証記録/ 改造助成・介護住改		改造助成 事前相談会		活動 予定	部会			ふくてつく 定例会発表	その他活動予定
	原則:木曜 ゴシックは水曜	集積 送信	第1・3・5 木曜	担当	作成 連絡	第3 土曜	議事 進行	記録	担当	
4月	7.14.21.27	鎌田	① 4/7	清水	4/14	4/16	川北	曾我部	4/2 川北 「下町ロケット」	
			②4/21	鎌田	4/27 小川					
5月	12.19.26	清水	③5/12	寺岡	5/12	5/21	川北	小川	5/7 小川 「介護保険制度」について	
			④5/19	川北	5/26 山本					
6月	2.9.16.23.30	春岡	⑤6/2	寺岡	6/9	6/18	山本	川北	6/4 曾我部 「東大阪市美味しモノ発祥探し」	・改造助成 H27 年度報告書等納品
			⑥6/16	後藤	6/23 川北					
			⑦6/30	曾我部						
7月	7.14.21.28	川北	⑧7/7	磯田	7/14	7/16	山本	寺岡	7/2 清水「近の鶏卵」	・介護住改 H27 年度報告書等納品
			⑨7/21	小川	7/28 小川					
8月	4.10.18.25	曾我部	⑩8/4	山本	8/10	8/20	川北	山本	8/6 無し	・8/3.17.24 介護住改登録説明会及び研修会 ケアマネ講習会
			⑪8/18	川北	8/25 山本					
9月	1.8.15.21.29	大塚	⑫9/1	小川	9/8	9/17	山本	大塚	9/3 大橋	9/2 寝屋川研修会
			⑬9/15	磯田	9/21 川北					
			⑭9/29	山本						
10月	6.13.20.27	磯田	⑮10/6	後藤	10/13	10/15	川北	曾我部	10/1 寺岡	
			⑯10/20	川北	10/27 小川					
11月	2.10.17.24	大橋	⑰11/10	大塚	11/10	11/19	山本	大塚	11/5 鎌田	
			⑱11/17	寺岡	11/24 山本					
12月	1.8.15.22	後藤	⑲12/1	鎌田	12/8	12/17	川北	磯田	12/3 山本	
			⑳12/15	曾我部	12/22 川北					
1月	5.12.19.26	山本	㉑1/5	清水	1/12	1/21	山本	清水	1/7 磯田	
			㉒1/19	山本	1/26 小川					
2月	2.9.16.23	寺岡	㉓2/2	磯田	2/9	2/18	川北	後藤	2/4 後藤	
			㉔2/16	後藤	2/23 山本					
3月	2.9.16.23.30	小川	㉕3/2	小川	3/9	3/18	山本	鎌田	3/4 大塚	・改造助成講習会
			㉖3/16	清水	3/23 川北					
			㉗3/30	鎌田						

※「事前相談会」太字は会場:西福祉事務所

※「活動予定/作成・連絡」は、上記以外の活動日は清水が担当。

3. こむねっと事業部会 (中北会員)

こむねっと事業部 平成 28 年度事業計画 (H28/7/1～H29/6/30)

A：事業活動 (有償無償に関わらず、外部に対しての事業活動)			
No.	事業名	日付 期間	事業目的・内容等
	相手先・依頼主 場所		期待する成果
A1-1	福祉サービス第三者評価①	H28年7月 ～	大阪府地域福祉推進審議会 福祉サービス第三者評価分科会
	大阪府推進審議会と 評価機関連絡会		引き続き、大阪府の第三者評価事業振興に寄与する。 連絡会では、協働研究や協働評価の取組を成功させ、実績を踏 まえて、連絡会の法人機能を高める。 講師を招聘して、連絡会主催の研修も企画する。 前年度は大阪府地域福祉推進審議会が開催されなかったが、 沈滞状況の打開を働きかける。
A1-2	福祉サービス第三者評価③	H28年7月 ～	ふくてっく第三者評価事業の拡大発展
	評価機関体制整備		評価活動の迅速化・合理化を目標とし、評価調査者2名の補充、 および評価技術の向上、評価態勢の整備を行う。 また各種書式も整えて、活動PRにも積極的に取り組み、 受注の拡大に努める。 第三者評価事業を採算部門に転換して、こむねっと事業部活動 の核とする。
A1-3	福祉サービス第三者評価④	H28年7月 ～	具体(複数)の評価活動を推進する
	実務遂行		1. 前期から継続の3件を確実に完遂する。 ・奈良県手をつなぐ育成会 やすらぎの丘・たかとりワークス ・同朋学園(児童養護) ・風の森(知的生活介護・就労継続支援B型) 2. 新規に大阪市立敷津浦学園(児童入所支援)の評価に取り組む。 3. そのほか1～2件の受注を実現する。 特に、社会的養護関係・保育所関係の受注開拓に尽力する。 第三者評価活動の事業体制を確固たるものとする。
A2-1	SCP研究会①	H28年7月～	災害時BCP
	ゆめ風基金、 ぱあていぱあてい他 関西広域連合域		ゆめ風基金主導の「災害時障害サービスBCP研究会」に 引き続き参加して具体の事業所のBCP立案に携わるとともに、 ネットワークを固める。
A2-2	SCP研究会②	H28年7月～	Service Continuity Planning
	医療・福祉事業者 関西広域連合域		前項の活動成果も踏まえて今期末までに懸案の研究会を立ち 上げ、診断活動の始動を図る。
A3-1	医療・福祉事業環境整備	H28年7月～	特殊建築物定期検査報告
			レポート受審事業所の定期検査を継続する。 ※積極的な新規需要の開拓は控えるが、 定期検査報告に限定しない相談案件に対応してゆく。
A3-2	医療・福祉事業環境整備	H28年7月～	施設保全の中長期計画コンサルティング
			これまでの実績を集大成して、温めてきた本来の事業企画を いよいよ具体化する。

A4-1	地活支援①	H28年7月 ～	福祉サービス事業所開設支援（既存建物活用）
			消防法等の厳格化により、既存建物活用は益々困難化しているが新築による整備は時間と費用が大きく、社会資源活用の意義は捨てきれない。 引き続き、要請に応じて務めてゆく。
A4-2	地活支援②	H28年7月 ～	障害者の地域生活基盤整備（地域居住スタイル研究）
			心身に障害を持ちながら、地域で自立生活をめざす障がい者やその支援者に協力して、地域生活基盤の整備に取り組む。 対象は一人住まい住居に限らず、GHを含む集住形態の追及も念頭において、新たな価値観の追及の上に乗って、社会制度改革にも提言する。 今年度は具体的取組として、NPO ばあとなあのGH 検討会議にも参画する。
A4-3	地活支援③	H28年7月 ～	ネットワークの更なる強化
			地活支援活動の成功を目指して、保健・福祉・医療、市民活動、企業、行政との連携を深める。 各種研修会等に積極的に参加し、地域福祉環境の向上に向けた活動に欠かせない知見の吸収に努めるとともに、その機会を捉えて人的ネットワークの拡大を図る。 ネットワークの中から、具体的に起業計画を始動したい。

B：部会活動（会員の研修会や勉強会、他機関との会合等）

	活動名	日付 期間	活動目的・内容等
	参加人数 場所		成果
B1-1	7月部会	7/16（土）	福祉サービス第三者評価事業
	大阪市立社会福祉センター		①奈良県手をつなぐ育成会訪問調査直前の諸準備 ②他2件の経過確認 ③協働事業の検討 その他議題 ①部会決算と事業計画 ②障がい者の就労と社会自立の支援
B1-2	8月上旬 臨時部会	未定	奈良県手をつなぐ育成会 第三者評価決定会議 標記の評価決定とあわせて、他2件の評価活動推進 新規案件（敷津浦学園）の取組計画
B1-3	8月部会	8/20（土） 午後	福祉サービス第三者評価ほか
	大阪市立社会福祉センター		
B1-4	9月例会	9/3（土）	重症心身障がい者およびその支援者との交流
	ふれぼの		障がい者の地域生活支援と市民活動について考える
B1-5	9月部会	9/17（土） 午後	福祉サービス第三者評価ほか
	大阪市立社会福祉センター		奈良県手をつなぐ育成会：サービス改善懇談会関与の検討 他3件：アンケートおよび自己評価の読込 および訪問調査計画の具体化、その他準備 協働評価事業への対応検討
B1-6	10月部会	10/15（土） 午後	

B1-7	秋の臨時部会	11月頃	地域福祉とユニバーサル就労支援事業所の視察
			外部にも呼びかけて研修と交流の機会とする
B1-8	11月部会	11/19(土)	第三者評価以外の事業推進
			SCP 研および地活支援の具体化
B1-9	12月部会	12/17(土)	28年度上半期活動の総括
			上半期をふり返って計画の進捗状況の評価 ロジックモデルの振り返りと再構築 PDCA サイクル(中長期計画の策定)を語り合う
B1-10	1月部会	1/21(土)	28年度福祉サービス第三者評価事業の総括
			取組み状況の振り返りと年度末に向けての活動チェック
B1-11	2月部会	2/18(土)	未定
B1-12	3月部会	3/18(土)	未定
B1-13	4月部会	4/15(土)	未定
B1-14	5月部会	5/20(土)	障がい者グループホーム研究会
			完成ホームの視察・評価 これからのGHのあり方と課題検討
B1-15	6月部会	6/17(土)	28年度活動の総括と29年度活動計画
			NPO 認証15年(2017年9月)に向けた企画提案

こむねっと事業部会 平成27年度収支計画 (H28/7/1~H29/6/30)					
事業・部会 No	事業名	収入	支出		収支差額
A1-1	連絡会協働プロジェクト推進経費	0		30,000	-30,000
A1-2	福祉サービス第三者評価調査者養成研修受講	0		40,000	-40,000
A1-2	同上 その他研修費	0		20,000	-20,000
A1-3	福祉サービス第三者評価(奈良)	648,000	活動費・諸経費	518,400	+129,600
A1-3	同上 (同朋学園)	300,000	活動費・諸経費	240,000	+60,000
A1-3	同上 (風の森)	300,000	活動費・諸経費	240,000	+60,000
A1-3	同上 (敷津浦学園)	300,000	活動費・諸経費	240,000	+60,000
A1-3	同上 (新規案件) 本年度分予定	300,000	活動費・諸経費	240,000	+60,000
A3-1	特殊建築物定期検査報告	300,000	活動費・諸経費	150,000	+150,000
A4-1	社会資源活用調査等、コンサルティング	200,000	活動費・諸経費	100,000	+100,000
A4-2,3	各種活動およびネットワーク構築経費	0		100,000	-100,000
B	部会 会議室料	0	前年並み+α	30,000	-30,000
B	特別企画経費 (福祉事業所視察ほか)	0		200,000	-200,000
B	資料印刷その他経費	0		140,000	-140,000
	合計	2,348,000		2,288,400	59,600

5号議案 平成28年度 活動予算計画

収支計画書

平成28年7月1日から平成29年6月30日まで

(単位:円)

科目	金額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
正会員受取会費	380,000	
通信会員受取会費	1,500	
学生会員受取会費	3,000	
例会参加受取会費	10,000	394,500
2. 受取寄付金		0
3. 事業収益		
ふくてっくのつどい	69,000	
東大阪	6,400,000	
こむねっと	2,348,000	8,817,000
4. その他収益		
受取利息	1,420	
雑収益	1,500	2,920
経常収益計		9,214,420
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	50,000	
人件費計	50,000	
(2) その他経費		
材料費	20,000	
業務委託費	150,000	
諸謝金	6,360,000	
印刷製本費	18,000	
会議費	40,000	
旅費交通費	740,000	
通信運搬費	50,000	
消耗品費	300,000	
租税公課	4,200	
研修費	260,000	
支払手数料	17,800	
雑費	19,800	
その他経費計	7,979,800	
事業費計		8,029,800
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	124,800	
通勤費	33,280	
人件費計	158,080	
(2) その他経費		
諸謝金	56,000	
印刷製本費	17,000	
会議費	64,000	

通信運搬費	62,000		
消耗品費	1,500		
地代家賃	412,260		
減価償却費	1,800		
保険料	35,840		
諸会費	44,000		
租税公課	100,000		
支払手数料	32,000		
雑費	60,000		
その他経費計	886,400		
管理費計		1,044,480	
経常費用計			9,074,280
当期正味財産増減額			140,140
前期繰越正味財産額			7,405,682
次期繰越正味財産額			7,545,822

各部の事業計画および収支予算書を総合し、通信費、会議費および管理関係経費については過年度の傾向を斟酌して作成しました。次年度も堅実な経営が見込まれます。